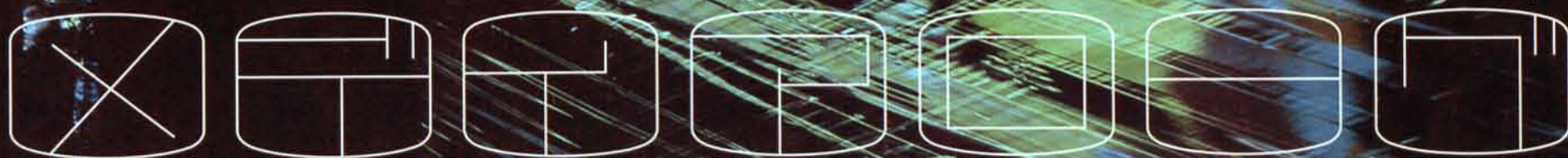


MEDIALOGUE

日本の現代写真'98

Photography in Japanese Contemporary Art '98



1998年4月11日(土)ー5月24日(日)
東京都写真美術館2階企画展示室

伊藤英次「WASTE」1996年 ©INA Eiji/WASTE,1996



太田三郎 シリーズ
「POST WAR 50 私は誰ですか」1995年
© Ota Saburo / from the "POST WAR
50 Who am I?" series, 1995

MEDIALOGUE

日本の現代写真'98



Photography in Japanese Contemporary Art '98



オサム・ジェームス・ナカガワ「スピリチュアル・ヘルプ」
1996-97年
© Osamu James Nakagawa / SPIRITUAL HELP,
1996-97



オノデラユキ「古着のポートレート No.7」1994年
© ONODERA Yuki / NO.7 from the "Portraits of
Secondhand Clothes" series, 1994

東京都写真美術館では、平成10年度第1回企画展として、日本の現代美術における写真の動向をさぐる展覧会、「メディアローグー日本の現代写真'98」を開催します。

「メディアローグ」とは、「メディア(media)」と「ディアローグ(dialogue)」というふたつの言葉から成る造語です。これは、新たな表現手段を手に入れ、メディアとより密接に関わりながら、今後も加速度をつけて発展していくであろう「写真」の役割、あるいは多種多様な表現媒体を通して、次代へと引き継がれていく「写真」の使命を体現する言葉ともいえるでしょう。

当館では、1990年以降さまざまなかたちで日本の現代写真を取り上げてきましたが、本展では、世紀の変わり目を目前にした現在、表現メディアとしての「写真」に何が起きているのかを、以下の視点から考察していくものです。

1. フォト・イメージの可能性

1970年代以降、日本の現代写真のひとつの潮流を生み出した、「私的写真(プライベート・フォト)」の流れは、90年代に入ってからさらに深化し、「私」(たち)が属する現代社会をはじめ、「私」(たち)を取り巻く環境・景色等を、より広義的に写し/映し出してきました。この章では、「私」(たち)をめぐるさまざまな物語を、社会性を反映させた独創的なテーマとともに、自由な写真表現で展覧します。[出展作家] 伊奈英次、オノデラユキ、鈴木秀ヲ、山田亘、山本昌男

2. デジタル・イメージの拡大

近年のマルチメディアは、刻々と進化をつづけ、写真の分野においても、それらは非常に重要な役割を果たし始めています。とりわけ、電子(デジタル)技術を、何らかのかたちで作品に取り入れようとする傾向は、それを表現として消化し、新たな写真表現を展開していく予感にあふれています。この章では、主に、トラディショナル(銀塩写真)からの、移行または延長線上にある作品を呈示し、その可能性をさぐります。

[出展作家] 太田三郎、所幸則、オサム・ジェームス・ナカガワ、茂木綾子、森万里子

マルチ・メディア・ショールーム

90年代の到来とともに出現した、各種CD-ROM写真集を逐次紹介します。

また、会期中限定で本展仕様のプリント倶楽部(写真シール印刷機)を設置します。



茂木綾子「フライング・ブルーム」1997年
© MOGI Ayako / Flying Broom, 1997



鈴木秀ヲ「光学の記録保管所」1997年
© SUZUKI Hideo / from the "OPTICAL
ARCHIVES" series, 1997



所幸則「シール(黒)」1998年
© TOKORO Yukinori / Seal (black),
1998



山田亘「コラボレーティブ・ファミリー」1997年
© YAMADA Ko / from the "Collaborative Family"
series, 1997



山本昌男「空の箱」1998年
© YAMAMOTO Masao / A Box of Ku,
1998



森万里子「ミラージュ」1997年
© MORI Mariko / Mirage, 1997

主催＝東京都写真美術館/日本経済新聞社
後援＝郵政省(予定)/社団法人マルチメディア・タイトル
制作者連盟(AMD)
協賛＝アスミック・エース エンタテインメント
協力＝日本アイ・ビー・エム/日本コダック/
デジタル/東武鉄道/日本航空
観覧料＝一般・大学生600(480)円/小・中・高校生300
(240)円 常設展との共通観覧料＝一般・大学生1000
(800)円/高校生500(400)円 ()内は20名以上の団体料
金。小学生未満、65歳以上の方、および障害のある方と
その介護の方1名は無料(証明できるものをご持参さ
い)。
開館時間＝10:00ー18:00(木・全曜日は20:00まで)
入館は閉館の30分前まで 休館日＝毎週月曜日(月曜日が
祝日または振替休日の場合はその翌日)

講演会開催のお知らせ
日時＝5月2日(土) 15:00ー17:00「Meet the Artists」
会場＝写真美術館1階ホール(入場無料、先着200名)
講師＝出品作家および関係者数名
4月11日(土)、5月9日(土)の午後2時より
当館学芸員によるフロア・レクチャーを行います。
次回企画展のご案内
「エレクトロニカル・ユアーズ 電子時代の新たな肖像」
1998年6月27日(土)ー8月26日(水)



交通機関＝JR恵比寿駅東口より徒歩7分(恵比寿ガーデンプレイス
内)お車でのご来館はご遠慮下さい。
ハロー・ダイヤル(03) 3272-8600
インターネットhttp://www.tokyo-photo-museum.or.jp

東京都写真美術館
〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3
Tel.(03) 3280-0031 Fax.(03) 3280-0033